

報告事項ア

こども未来フォーラムの開催結果について

こども未来フォーラムの開催結果について別紙のとおり報告します。

平成28年2月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

こども未来フォーラムの開催結果について

平成28年2月8日

いじめ・不登校総合対策センター

1 事業概要

(1) ねらい

「ひとつの勇気から、STOPいじめへ」をテーマに、いじめ問題に関する著名人のトークショー、缶バッジデザインの優秀作品の表彰、各学校で生徒・PTAが取り組んでいるいじめ問題・仲間づくりに向けた取組の紹介、パネルディスカッション及び展示をとおして、いじめ問題への関心を高め、いじめの防止のために参加者ができることを考えるきっかけとする。

(2) 日 時 平成28年1月24日(日) 13:30~16:30

(3) 場 所 倉吉未来中心(倉吉市駄経寺町212-5)小ホール、ロビー

(4) 参加者 約450人

(5) 内 容

<小ホール>

① トークショー

「戦場カメラマンが見た世界の学校と子どもたち」

渡部 陽一氏(戦場カメラマン)

ゆっくりとした独特の口調で子どもたちにもわかりやすく語りかけてくださった。

- ・不安や壁にぶつかったときには「焦らなくていいんだよ」ということを伝えたい。
- ・相手のことを知ること、気づくこと、そして声をかけてあげることの大切さを感じてほしい。



② 表彰

「笑顔でつながる缶バッジデザインコンクール」表彰・作品紹介

③ 生徒・PTAによる発表

○ 倉吉市立上灘小学校PTAの取組

いじめアンケートからみた課題や、PTA人権教育研修会や教育講演会の取組をとおして、保護者が子どもに生き方を示して、しっかり見守り支えていくことの大切さを述べられた。

○ 「北条中学校の取組～ねばりっこプロジェクト～」北栄町立北条中学校

滋賀県湖南市との交流や北栄町いじめなくそうサミット、全校人権集会の取組を紹介し、「いじめをなくす3カ条」の意識を高め、いじめをなくすためにねばり強く取り組んでいくための具体的な提案をされた。



○「いじめ撲滅宣言を中心とする三朝中学校の取組」

三朝町立三朝中学校

学級での「いじめ撲滅宣言」作成から人権集会や人権弁論につながる取組と、一人一人が自分の意見を言えることの大切さや人の存在を認めていける言葉のあふれる学校を作りたいという思いを伝えられた。



④パネルディスカッション

「次の一步を踏み出す勇氣」

パネリスト：倉吉市立鴨川中学校、湯梨浜町立北浜中学校

琴浦町立赤碕中学校、県立倉吉西高等学校 生徒の皆さん

いじめ問題について今感じていること、どうしていじめはなくなるのか、いじめを見ている人達の行動といった内容を話し合った後、傍観者がいじめをやめさせるように行動するには何が必要か、そして、自分にできることは何だろうか等について、体験をふまえた自分の意見を堂々と述べてくれた。

<ロビー展示等>

- 各学校の取組
- 「笑顔でつながる缶バッジデザインコンクール」入賞作品
- オリジナル缶バッジ制作セットコーナー
- 渡部陽一ミニ写真展



2 来場者アンケート集計結果(回答数 99)

参加理由 (複数回答)			とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
いじめ問題に興味があった	31					
渡部さんの話が聞きたかった	64	第1部 渡部氏のトークショー	62%	37%	1%	0%
生徒・PTAによる発表に興味があった	18	第2部 コンクール表彰 学校における取組発表	44%	52%	3%	1%
パネルディスカッションに興味があった	12	第3部 パネルディスカッション	51%	46%	3%	0%

【感想・意見より】

- ・一人一人が学校生活の中で目標を持ち、頑張っている姿をお互いに意識し合える環境を持ちたい。
- ・無関心をなくすことが大切であると思った。相手の立場に立ち、少しでも相手を理解する姿勢が必要と思った。
- ・いじめには興味がなかったが、関心が出てきたので、こういう場を何回か持つことが大切なのではないだろうか。